



平成 20 年 6 月 11 日

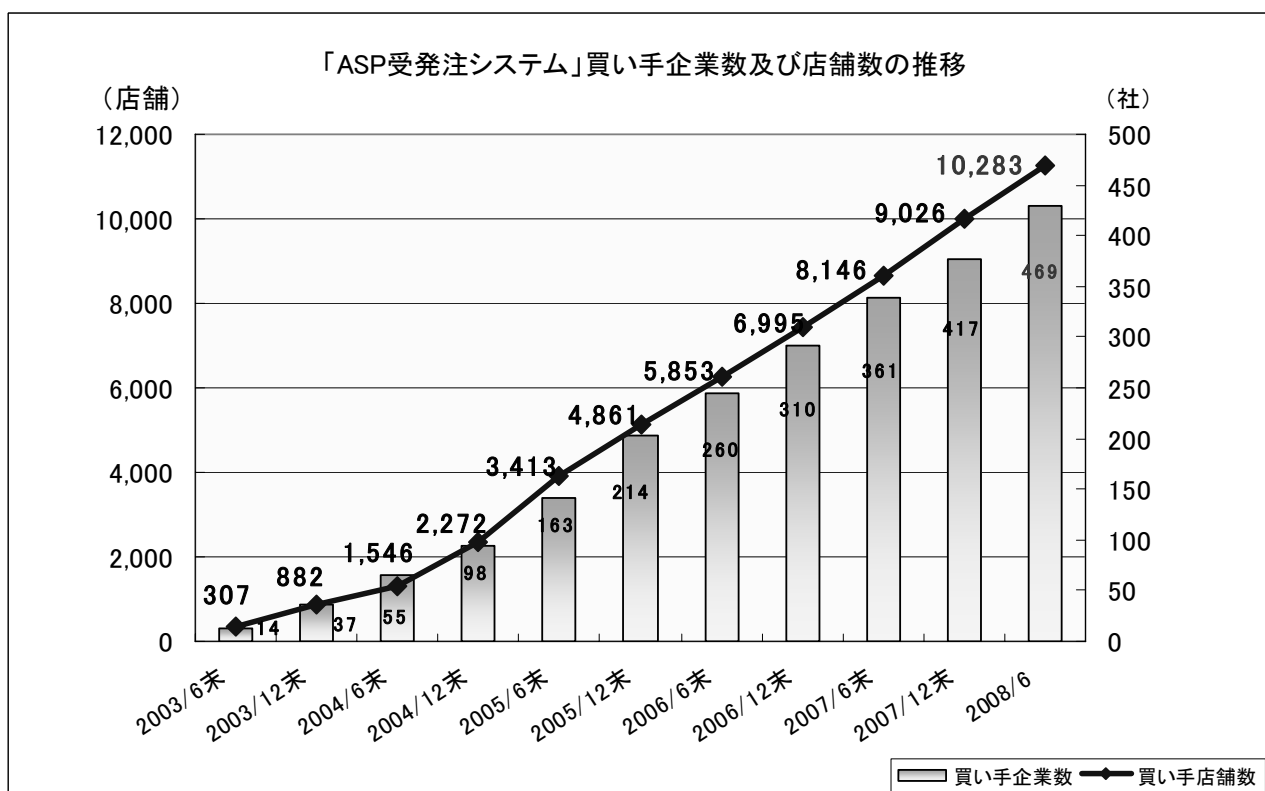
各 位

東京都港区浜松町一丁目 27 番 16 号
株式会社インフォマート
代表取締役社長 村上 勝照
(コード番号：2492 東証マザーズ)
問い合わせ先 常務取締役兼管理本部長
藤田 尚武
電話 (03)5777-1710

FOODS Info Mart 「ASP受発注システム」利用店舗数、1万店舗到達のお知らせ

当社が運営しておりますフード業界企業間電子商取引 (BtoB) プラットフォーム「FOODS Info Mart (フーズインフォマート)」の「ASP 受発注システム (ASP 事業)」の利用において、6 月 11 日現在、買い手企業数 469 社、利用店舗数が 1 万店舗に到達いたしました。その内容に関し、下記の通りお知らせいたします。

記



(2008 年 6 月 11 日現在)

1. 「ASP 受発注システム」1 万店舗までの経緯

「ASP受発注システム」は、フード業界からの「取引先とWeb上で受発注業務を行いたい」、「受発注業務の簡素化を図りたい」というご要望・ニーズを背景に、システム開発を行ない、2003 年 2 月に「業界標準システム」を目指し、サービスの提供を開始いたしました。それから 5 年 4 ヶ月が経ちましたが、受発注業務をWeb上で行うことによる、業務改善・コストダウンへのインパクトのみならず、利用企業の増加に伴い業界のニーズが寄せられ、利便性の高いシステムへと進化を続けてきました。その結果、新規案件の稼動が順調に進み、2008 年 6 月現在、買い手企業の利用企業数は 469 社・店舗数 10,283 店舗となり、その取引先である、売り手利用企業数は、12,199 社まで拡大いたしました。

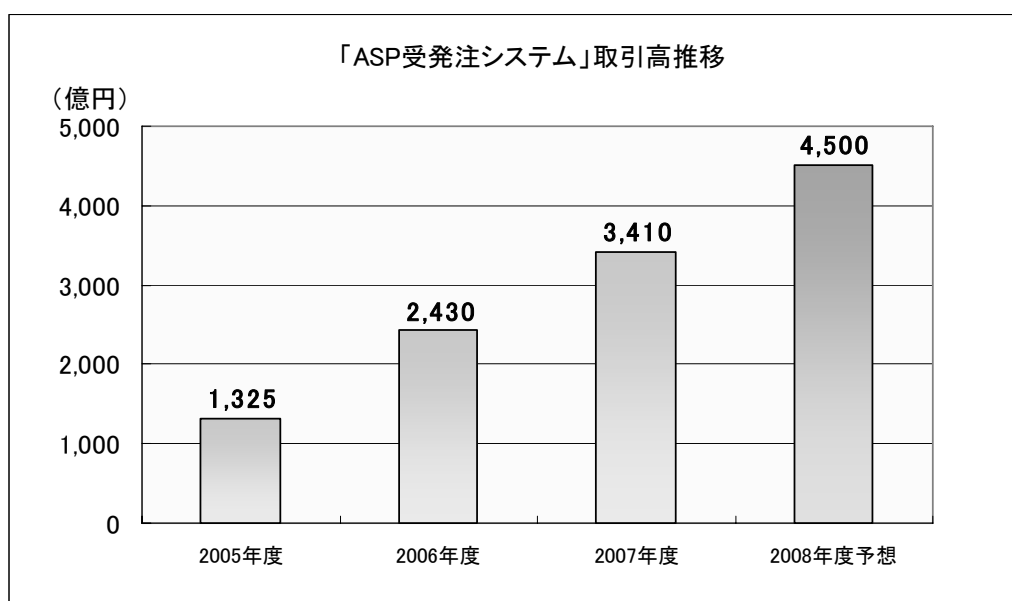
(2008年6月現在：買い手企業数 469社(2008年3月末比 31社増)、買い手店舗数 10,283店舗(同 747店舗増)、売り手企業数 12,199社(同 354社増))

また、「ASP受発注システム」が1万店舗にまで普及する牽引役となったのが、2006年10月に開始した「アライアンスパートナー制度」です。本制度は、「ASP受発注システム」が拡大する過程で、多くの買い手企業とWeb受発注でつながったことにより、業務の効率化が進んだ売り手企業(以下、アライアンスパートナー)と共に、「ASP受発注システム」の業界標準化を促進する目的でスタートいたしました。アライアンスパートナーからのご紹介により、2008年6月現在までに外食企業を中心に66社・867店舗へのシステム導入実績をつくることができました。本アライアンスパートナー制度は、現在57社となっており、今後も100社を目標に制度の拡大を図り、「ASP受発注システム」の業界標準化を加速してまいります。

引き続き、「ASP受発注システム」を10店舗以上のチェーン店を経営する外食企業に導入促進を図ると同時に、5~10店舗規模の外食企業へも導入の促進を図ってまいります。また、その他業態への導入推進や、東京・名古屋・大阪をはじめとする、全国主要都市へのさらなる普及も進めてまいります。

2. 「ASP受発注システム」取引高の推移

「ASP受発注システム」は、利用企業数・店舗数の増加に伴い、取引高も順調に拡大し、直近2008年5月の月間取引高は、328億円となりました。2007年度の年間取引高は3,410億円、外食業界全体の約4.7%(注1)に拡大いたしました。2008年度は、さらに利用企業が増加することにより、取引高4,500億円、外食業界全体の約6%のシェアまで「ASP受発注システム」が普及する見込みとなっております。



(注1) 2006年外食産業市場規模の24兆3,592億円(社団法人フードサービス協会 外食産業データ)から、仕入金額を30%の前提で計算すると、7兆3,078億円となり、当社2007年度取引高3,410億円は、4.7%にあたる(当社計算により算出)

3. 「ASP受発注システム」の中期目標

「ASP受発注システム」は、サービス開始から、業界標準システムを目指し、導入推進をしてまいりましたが、現在、フード業界には約125万社(注2)の事業所が存在しており、フード業界における企業間電子商取引(BtoB)、各企業のIT活用ニーズは、今もなお、多く存在しています。WEB上で日々の受発注業務を行なうことのできる「ASP受発注システム」は、各企業のIT活用、内部統制システムの構築においても有効であるため、今後もシステム利用の需要が継続するものと予想しております。

当社は、アライアンスパートナー制度のさらなる強化、また、外食以外の業態にも普及を進めていくことで、今後も導入店舗数の拡大に努めてまいります。

その上で、当社の「ASP受発注システム」における中期目標としましては、現在の2倍となる、利用店舗数2万店舗、「ASP受発注システム」における年間取引高8,000億円、外食業界全体の流通金額において、約10%のシェアを目指してまいります。

(注2) 参考：総務省調べ 平成16年事業所・企業統計調査全国結果、事業所（外食、小売業、旅館・ホテル・レジャー、卸売業、製造業、農・畜・漁業）に関する集計より

4. 今後の見通し

「ASP受発注システム」の利用店舗数が1万社へ到達したことは、平成20年2月13日に発表いたしました「平成20年12月期業績予想」に対して概ね計画通り進んでいるものであります。今後、当システム提供の進捗状況が、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

参考資料

【「ASP受発注システム」とは】

フード業界における、企業間の日々の受発注業務・伝票処理等を、Web上で行うASPモデルの仕組みです。発注側である買い手企業の本部・店舗と、受注側である売り手企業との間で行われる日々の受発注業務を効率化し、データ化することで、業務コストの大幅な削減を実現します。また、リアルタイムな売上・仕入状況の把握、店舗管理、買掛・売掛の早期確定など、システム化することによるメリットは多岐にわたります。

【「ASP受発注システム」利用店舗の状況】

■買い手企業1社当たりの導入店舗数について

現在、「ASP受発注システム」をご利用いただいている買い手企業のうち、半数を占めているのは、サービス開始当初の2003年より、積極的に導入を促進してきた10店舗～700店舗規模の外食チェーンで、今後も引き続き、導入推進を進めてまいります。

最近の傾向としましては、取引先となる売り手企業が12,199社まで導入が拡大したことにより、取引先の多くが「ASP受発注システム」を既に利用されているというケースも増えており、また、システム導入のしやすさから、10店舗以下の企業への導入も伸びております。これからの店舗拡大や上場目標に向け、ITを活用した受発注取引のデータ化等を優先し、早期にシステムを導入する事例もあり、今後も10店舗以下の企業への導入は、大規模チェーン店への導入と同様に、拡大していくものと予想しております。

■買い手企業・利用店舗の業種について

現在、「ASP受発注システム」は、総合レストランや居酒屋チェーン等の外食を中心に、給食・中食業態、ホテル・結婚式場・ゴルフ場といった業種へも、活用が進んでおります。今後も、フード業界での幅広い利用の促進を図ってまいります。

業種	割合
外食	85.1%
給食・中食	8.5%
旅館・ホテル・レジャー	6.3%
小売	0.1%
合計	100.0%

(2008年5月末時点)